



ろうさい連携だより

2013.9

第 15 号

病院の理念

満足と納得が得られる医療の実践

基本方針

- 1 患者さんの安全と安心を第一に考える医療を提供します
- 2 患者さんの権利を尊重し、思いやりのある医療を実践します
- 3 科学的根拠に基づく質の高い医療を提供します
- 4 地域の方々と勤労者の健康管理を支援します



ニッコウキスゲ（撮影：胃腸科部長 濱田史朗）

目次

- p1 診療の現場から ● 大腸肛門外科
- p3 検査科の紹介 ● 中央検査部
- p3 地域医療連携センターから
- p4 Topics ● 医療連携のつどい・市民講座
- p4 お知らせ
- p4 今月の投稿
- p5 東北労災病院外来診療担当表

大腸がん・炎症性腸疾患・肛門疾患の プロフェッショナルとして

東北労災病院大腸肛門外科—大腸肛門病センター

副院長・大腸肛門病センター長 舟山 裕士

大腸肛門外科部長・副センター長 高橋 賢一

大腸肛門外科副部長 生澤 史江



大腸肛門外科スタッフ
左から高橋賢一、生澤史江、舟山裕士

大腸肛門外科は、2007年7月に、急増する大腸肛門疾患に対応する東北唯一の専門科として発足いたしました。スタッフは、舟山、高橋、生澤の3名で、大腸肛門病学会評議員、大腸肛門病専門医、指導医を擁し、大腸肛門病専門医臨床修練施設の認定を受けております。プロフェッショナルとして腕を磨き診療面での多彩な要求に応えるため日々努力を続けております。北は青森県から南は関東と、各地からの紹介患者を受け入れており、大腸肛門疾患治療の要として、各肛門科専門施設、各基幹病院からの受け皿としてその使命を果たしていきたいと考えております。

I. 直腸癌

下部直腸癌は、従来、マイルス手術(腹会陰式直腸切断術)が行われてきましたが、現在では、肛門温存手術が広く行われるようになってきております。しかし、高度な技術が求められるため、安定した成績を得ることはなかなか困難です。当科では、発足当初より超低位前方切除術、内肛門括約筋切除術による肛門温存手術に焦点をあて努力して参りました。その結果、局所再発をほとんどおこさずに肛門機能を残すことができております。また、直腸癌の分野においても整容性と低侵襲性を重視し、腹腔鏡手術を導入し良好な視野のもと合併症の少ない機能温存手術を行っております。

局所コントロールが困難な高度進行直腸癌に対しては、術前に放射線化学療法を併用した直腸切断術、肛門温存が可能な症例では、分子標的薬を併用した化学療法を術前におこない肛門温存手術を行う症例が増えてきております。特に、直腸肛門周囲に膿瘍や炎症を伴い一次的切除が困難な症例には積極的に術前放射線化学療法を行い、治療成績の向上を図っております。

大腸癌ガイドラインでは、リンパ節転移や壁外浸潤を伴う下部直腸癌に側方郭清を行うことにより8～

9%の予後の改善が得られると記載されております。自律神経損傷や出血のリスクがあり、一般病院にはあまり普及してはおりませんが、当科では、手技の標準化を図り、適応症例には積極的に側方郭清術を行っております。自律神経は全温存を標準としており術後の神経障害は非常に減少し、骨盤内再発は減少しております。

図1 直腸癌

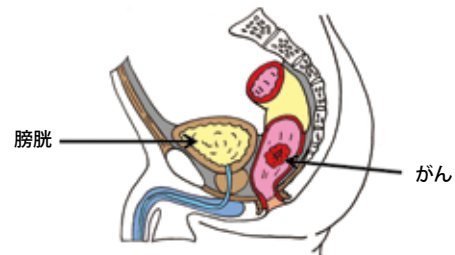
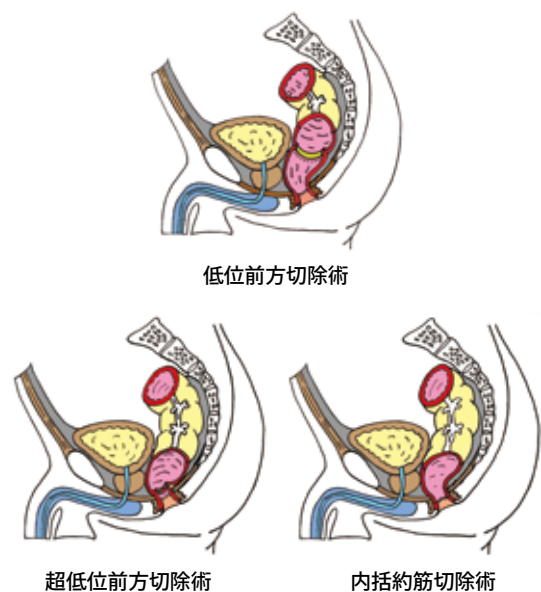


図2 直腸癌の手術



大腸手術とりわけ直腸手術では、創感染の合併が非常に多く、在院期間の延長、Quality of Lifeの低下を

招き、従来から大きな問題でした。当院では、創縁保護具、閉創専用手術器械、化学的前処置を高橋が提唱し実行することで、創感染が会陰創も含め10%前後と激減させることに成功しました。現在、回診時の創処置はほぼ完全になくなっており省力化、医療コストの低減にも役立っております。

II. 炎症性腸疾患

潰瘍性大腸炎は全国で患者数が10万人を越えており、決してまれな疾患ではなくなってきております。最近の傾向として、高齢化社会の到来とともに高齢者患者の増加が挙げられます。高齢者では、排便機能の低下、ADLの低下をともっており、外科治療上数多くの問題点があります。タクロリムス、抗TNF- α 抗体の適応追加により、重症例の緊急手術は減少傾向ではありますが、長期経過例の増加とともに、高齢者患者と癌化例の増加が全国的な傾向であります。

クローン病は、肛門病変により近隣の肛門科の先生からの紹介が多く、胃腸科での検査により早期にクローン病と診断される例が増加しております。抗TNF- α 抗体を併用しながら、シートドレナージを行うことで、肛門病変のコントロールをつけつつ、抗TNF- α 抗体によるトップダウン療法が主流になってきております。また、これら炎症性腸疾患については、東北大学と協力しつつひろく東北他県からの患者さんが紹介されるセンター的病院となっております。

炎症性腸疾患は、専門性が要求される疾患ですので、胃腸科の大腸専門ドクターと緊密な連携をとって診療をおこなっております。

III. 肛門疾患

痔核、痔瘻、裂肛は3大肛門疾患と呼ばれております。そのうち、痔核は、近年、PPH（直腸粘膜環状切除術）やALTA（アルミニウム・タンニン酸）注射療法などの新しい治療法が加わり、患者さんの事情にあわせて種々の治療が選択できるようになりました。なかでも、高度の直腸粘膜脱症候群ではPPHにより、短期間で症状の改善、社会復帰がはかれるようになり、患者さんに喜ばれております。

当科は、痔瘻の中でも特に治療の困難な後方深部痔瘻の症例を紹介されることが多く、シートドレナージを併用しながら機能温存と両立させながら根治術を

行っております。裂肛は、病態の複雑な例が多く、外科治療の決定が困難ですが、狭窄が高度な例では、内肛門括約筋切離術とY-V肛門形成術にて症状の改善を図っております。

図3 PPH（直腸粘膜環状切除術）



IV. 機能性大腸肛門疾患

直腸脱は、高齢化社会の到来とともに特に女性で増加傾向の疾患です。子宮脱、膀胱脱を合併することが多く、泌尿科、婦人科との連携のもと診療をおこなっております。当科では、腹腔鏡下直腸固定術を第一選択術式としておりますが、患者さんの状態により、経肛門的術式（デローム手術、ティールシュ手術など）も行っております。腹腔鏡下直腸固定術は、手術数が50例を超え全国有数のハイボリュームセンターと呼ばれるまでになりました。

V. ストーマ外来

直腸癌、炎症性腸疾患の症例の増加に伴い、年間のストーマ造設数は90件と東北でもトップレベルの多い症例数となっております。一時的回腸ストーマ、炎症性腸疾患での回腸ストーマが多いため、術後管理は技術的にも高度なものを要求されますが、当院の病棟ナースの高い技術レベルに支えられております。また、退院後はストーマ外来でWOCナースによる十分なフォローがおこなわれ、患者さんの不安を取り除き、QOLが向上するよう努力しております。



当院のWOCナースー皮膚・排泄ケア認定看護師
左から菊地湖、斎藤真澄

検査科の紹介

中央検査部

中央検査部長 村上 健一



中央検査部スタッフ

中央検査部は嘱託を含む25名の臨床検査技師が、検体部門（一般・血液・生化学・免疫・輸血・細菌）、生理部門、病理部門の構成で、時間外は宿日直体制で検査業務に従事しています。

〈検体部門〉

各種機器を7名の技師でローテーションしながら対応しています。年々検査件数が伸びてきて、多い時には1日700件を超える検査受付数（健診除く）、月16万件以上の依頼件数がありますが、一般・血液・生化学・免疫検査まで迅速な結果報告に努めています。

細菌検査は3名の技師で、培養検査、迅速検査、塗沫検査を年間25,000件処理しています。迅速・塗沫検査の結果報告は30分以内を心がけています。

〈生理部門〉

生理全般と腹部エコー室があり10名の技師で多種多様な検査に対応しています。特に、呼吸機能検査は充実しており年間8,000件の件数を数えます。また、労災病院として特徴的な検査として、じん肺や振動病障害の認定に係る検査も行っています。

腹部エコーは腹痛精査の検査依頼が多く、鑑別のためには肝、胆、膵はもとより消化管まで対応しなければならず、技師の技術レベルの高さが求められています。

〈病理部門〉

病理診断科は病理専門医2名（うち非常勤1名）、後期研修医1名、技師4名（細胞検査士3名）で病理診断業務に携わっています。

他の検査に比べ手作業が多いのですが、的確かつ正確な標本を迅速に作製し病理医に届けることを心がけ、院内では定期的な症例検討会を行い臨床との十分な連携を図っています。また、術中迅速診断は10～15分程度で行い手術の適正な進行に貢献しています。

〈精度管理〉

臨床検査データが疾患の診断や予防に活用されるためには、その信頼性が保証されていなければなりません。当院では、日々の精度管理に、必要十分な時間を割いて検査データの質の向上や信頼性の高い検査結果が得られるよう努めています。

今般、日本臨床衛生検査技師会の「精度保証施設認証制度」の認証を得ることができました。これは、当院の臨床検査値は標準化され且つ精度が十分保証されていると評価できる施設であることを証するもので、宮城県で認証を得ているのは当院を含め3施設のみとなっています。

中央検査部では、今後も基準を満たした検査データの信頼性の維持と向上に努め、安心してご利用いただける臨床検査情報を提供してまいります。

地域医療連携センターから

◆フィルムレスについて

当院では、平成25年6月1日より、すべての放射線関連検査の画像（X線撮影、CT、MRI、血管撮影等）について「フィルムレス」に移行いたしました。

これに伴い、当院からの画像データの情報提供はフィルムからCD（返却不要）に代わります。

◆月別紹介患者数

	紹介患者数(人)	逆紹介患者数(人)
平成25年3月	1,113	935
平成25年4月	1,130	846
平成25年5月	1,153	804
平成25年6月	1,093	702

医療連携のつどい報告

平成25年8月1日(木)開催

江陽グランドホテルで東北労災病院 医療連携のつどいが開催されました。

講演では、外科副部長・内視鏡下手術センター副センター長 松村直樹医師による「東北労災病院における腹腔鏡下大腸癌手術の取り組みと治療成績」、副院長・糖尿病代謝センター長 赤井裕輝医師による「糖尿病を治す・糖尿病合併症を治す」と題した講演が行われました。

日頃、お電話や書面で存じあげている先生方と直接にお目にかかれてお話を伺えたことは、当院の職員にとって貴重な機会となりました。

お忙しいところ、ご参加くださいました先生方に御礼申し上げます。



第12回市民講座ご報告

平成25年7月26日(土)開催

当院1階ロビーを会場に第12回市民講座が開催されました。当院耳鼻咽喉科部長による「人工内耳の両側装用」について講演と、人工内耳体験者・ご家族の方のお話があり、約84名の皆様のご参加をいただきました。



お知らせ

がん公開セミナー

日時 平成25年9月19日(木) 18:00～

内容 アスベスト関連肺胸膜疾患の画像診断

場所 多目的ホール

講師 長崎大学病院 がん診療センター長 芦澤 和人 先生

第13回市民講座

日時 平成25年11月16日(土) 13:00～

場所 東北労災病院1階ロビー

内容 ①大腸がんについて(松村外科副部長) ②鼠径ヘルニアについて(野村外科医師)

※事前申込不要・入場無料

今号の投稿

七夕

原稿が丁度七夕の時期に重なりました。旧暦の解釈の違いによって日本では7月7日と8月7日に祝う所に分かれたようです。前者の代表格が神奈川県平塚、後者はもちろん仙台。ヒマジンは実は平塚にも住んだことがあるんです。その七夕は湘南に似合わない感じがしましたが、清楚で庶民的で地元の人気がある。他方、仙台は豪華で美しい。ともかく七夕、天の川で牽牛と織女が年に一度だけ会うことを許されたという話は中国の天帝が関わった故事に由来するらしい。こんな男女関係を考察すると、男女間で受け止め方が違うようだ。どういふことかということ、永遠の愛を求める女性は悲恋ととらえる。一方、不真面目でヒマジンのような男性陣は、年に一回、そういう恋愛も有りだよ、などと男の身勝手な思いで語ったりする。

途方もなく広い天の川では偶然どっかでこの二人がばったり、なんてことはあり得ない。天の川はわれわれのいる銀河だが、宇宙には天の川銀河のようなのが1000億個以上ある。そして、その銀河一つ一つには、太陽のような恒星はなんと1000億個以上あるんだそうな。さらには、人類がとらえている宇宙以外に、実は別な宇宙が他にある可能性があるんですって。想像を絶しますね。ヒマジンは思考停止となり、ただ天空をうつろに見つめるのみです。

ヒマジン

東北労災病院外来診療担当表 (平成25年9月1日)

科/部門	曜日					特殊外来・各種教室等			
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	名称	曜	時間	
内科	胃腸科	前川 浩 樹	浜 田 史 朗	小 島 康 弘	浜 田 史 朗	大 原 秀 一			
		齋 藤 晃 弘	楠 瀬 寛 顕	齋 藤 大 輔	前 川 浩 樹	小 島 康 弘			
		仲 程 純	玉 瀧 泰 史	半 田 朋 子	祢 津 寧 子	北 川 靖			
	肝臓科	小 林 智 夫	阿 部 直 司	阿 部 直 司	阿 部 直 司	阿 部 直 司			
		山 川 暢		山 川 暢	小 林 智 夫				
	腫瘍内科					丹 田 滋(院外新患)14:00～		院内紹介は問合せ下さい	
	内視鏡	上部	大 原 秀 一	大 原 秀 一	大 原 秀 一	大 原 秀 一	大 原 秀 一		
		下部	浜田/北川/玉瀧/祢津	北川/齋藤(大)/齋藤(晃)/半田	浜田/北川/仲程	北川/齋藤(大)/半田/仲程/楠瀬	浜田/齋藤(晃)/玉瀧/祢津		
	糖尿病・代謝内科	中村 麻里(登録医新患)	宮口 修一(登録医新患)	赤井 裕輝(登録医新患)	宮口 修一(登録医新患)	松本 雅博(登録医新患)	糖尿病教室	月	15:30～16:30
		中村 麻里(院内紹介新患)	久野 春奈(院内紹介新患)	渡辺 太一(院内紹介新患)	宮口 修一(院内紹介新患)	高橋 広延(院内紹介新患)			
	循環器内科	宮口/渡辺(再来)	赤井/松本(再来)	松本/宮口/高橋(再来)	久野/中村(再来)	赤井/中村(再来)			
		高橋 務子(新患)	高橋 務子(院外新患のみ)	川 名 暁 子(新患)	加 藤 浩(新患)	川 名 暁 子(院外新患のみ)	腎臓内科	月	13:00～
	高血圧内科	川 名 暁 子(再来)	加 藤 浩(再来)	加 藤 浩(再来)	高 橋 務 子(再来)		血液疾患外来	金	午後診察(受付は14時まで)
		金 野 敏	宗 像 正 徳	宗像(第1・3・5)、金野(第2・4)(院外新患のみ)	宗 像 正 徳	金 野 敏			
	呼吸器内科	三 浦 元 彦	田 中 里 江	田 代 祐 介	三 浦 元 彦	大 塚 竜 也	喘息外来(予約制)	月	14:00～15:00
田 代 祐 介		井 上 大 輔	大 塚 竜 也	田 中 里 江	京 極 自 彦	禁煙外来(完全予約制)	水	14:00～16:00	
		谷 津 年 保		井 上 大 輔		女性外来(隔週予約)	水木	14:00～15:30	
SAS外来		佐 藤 研(完全予約制、14:00～16:00)							
呼吸器外科	保 坂 智 子				保 坂 智 子				
心療内科	田 口 文 人	田 口 文 人	田 口 文 人	田 口 文 人	田 口 文 人	再来は予約制			
小児科	石 澤 志 信	高 柳 玲 子	石 澤 志 信	石 澤 志 信	高 柳 玲 子				
	高 柳 玲 子	沼 田 美 香	沼 田 美 香	小 島 三 千 代	沼 田 美 香				
		14:00～ 予防接種	13:30～神経外来 山本克哉(第2・4週のみ)	14:00～ 乳児検診	14:00～アレルギー外来 三浦克志	午後診はすべて予約制 神経外来 第2・4週のみ			
外科	消化器科外科	徳村 弘実(10:00～)	徳 村 弘 実	野 村 良 平	徳 村 弘 実	大腸肛門外科：火曜のみ			
	大腸肛門外科	澤田健太郎(10:00～)		西 條 文 人	安 本 明 浩	ストーマ外来：火曜午後予約制			
	乳腺外科		舟 山 裕 士			乳腺外科：火曜・金曜の診察は午後のみで予約制			
	血管外科	豊 島 隆	※豊島 隆(新患のみ)	深 山 紀 幸(第2・4週のみ)	豊 島 隆	※豊島 隆(新患のみ)	血管外科：予約制		
整形外科	関 節	信 田 進 吾	井 上 尚 美	信 田 進 吾	井 上 尚 美	信 田 進 吾			
		田 中 稔	田 中 稔	井 上 尚 美	玉 川 省 吾	橋 本 ち ひろ			
		檜 森 興	檜 森 興	田 中 稔	渡 嘉 敷 卓 也	芦 名 善 博			
		橋 本 ち ひろ	玉 川 省 吾	檜 森 興	三 浦 慎 次 郎				
		芦 名 善 博	渡 嘉 敷 卓 也	玉 川 省 吾					
			橋 本 ち ひろ	渡 嘉 敷 卓 也					
	脊 椎		日下部 隆		日下部 隆	日下部 隆			
			関 口 玲		関 口 玲	関 口 玲			
	脳神経外科		長嶺 義秀(午後のみ)				受付は16時まで		
	皮膚科	谷 田 宗 男	岡 田 修 子	谷 田 宗 男	岡 田 修 子	谷 田 宗 男	水曜受付10:00まで(手術のため)		
岡 田 修 子		那 須 め い	那 須 め い	那 須 め い	岡 田 修 子	月・火・木午後検査(予約制)			
泌尿器科	阿 部 優 子(新患)	竹 内 晃(新患)	浪 間 孝 重	竹 内 晃	前 澤 玲 奈				
産婦人科	浪 間 孝 重	浪 間 孝 重	浪 間 孝 重	那 須 一 郎	阿 部 優 子	完全予約制			
眼 科	那 須 一 郎	那 須 一 郎	那 須 一 郎	那 須 一 郎	那 須 一 郎	月・水・金 午後検査(予約制)			
	佐 藤 肇	—	佐 藤 肇	—	佐 藤 肇	手術日 火・木			
耳鼻咽喉科	金 澤 紘 子	金 澤 紘 子	金 澤 紘 子	—	金 澤 紘 子				
	浅 野 俊 文	—	浅 野 俊 文	浅 野 俊 文	浅 野 俊 文				
	大 山 健 二	大 山 健 二	—	大 山 健 二	大 山 健 二				
	—	入 間 田 美 保 子	入 間 田 美 保 子	入 間 田 美 保 子	入 間 田 美 保 子	手術日 月・水・金 再来予約制			
リハビリ科	工 藤 貴 之	工 藤 貴 之	工 藤 貴 之	工 藤 貴 之	工 藤 貴 之				
	織 田 潔	織 田 潔	織 田 潔	織 田 潔	織 田 潔				
放射線診断科	橋 本 研	橋 本 研	橋 本 研	橋 本 研	橋 本 研				
放射線治療科	小 松 恒 弘	原 田 卓	東北大学医師	小 松 恒 弘	原 田 卓	ブレスクリニック 毎週金曜日(15:00～)予約制			
リウマチ科	濱 光	濱 光	濱 光	濱 光(午後のみ)	濱 光	治療の新患は月・水予約制(前週金曜日まで要予約)			
歯 科	白 田 佑 子	—	白 田 佑 子	白 田 佑 子	白 田 佑 子	完全予約制			
	—	畠 山 明	畠 山 明(新患)	畠 山 明	畠 山 明	新患は電話で予約			
口腔外科	加 藤 一 郎	加 藤 一 郎(新患)	加 藤 一 郎	非常勤医師(第1・第3週)	加 藤 一 郎	新患・再来全予約制			
	塚 田 甲	塚 田 甲	塚 田 甲	塚 田 甲	塚 田 甲	新患・再来全予約制			
	—	非常勤医師(午後のみ)	—	非常勤医師(午後のみ)	—				



独立行政法人 労働者健康福祉機構 東北労災病院

〒981-8563 仙台市青葉区台原4-3-21

TEL.022-275-1111(代表) FAX.022-275-4431

ホームページ <http://www.tohokuh.rofuku.go.jp>

地域医療連携センター

TEL.022-275-1467(直通) FAX.0120-772-061